資料5

令和3年度平塚市在宅医療・介護連携推進事業の取組予定

検討項目		令和3年度取組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	**地域の医療機関、介護事業所等を把握し、リストやマップを作成、活用する。**	○医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集 ・三師会の会員を対象とした医療機関等情報を把握、神奈川県への登録情報から介護事業所の最新情報を得る。 ○医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用 ・市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」を更新する。 ・「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」の情報収集、内容を更新する。	平塚市在宅医療・介護連携支援センターウェブサイトの運用			ひらつか介護サービス（医療対応）一覧の更新								
			わくわくマップの運用（平塚市ホームページ）											
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	**地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行う**	○平塚市在宅医療介護連携推進協議会の開催 在宅医療・介護連携に係る課題抽出や対応策の検討を行う。 また、市の認知症施策等についての検討を行う。				第1回 会議 7月予定				第2回 会議 11月予定				第3回 会議 3月予定
(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	**地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて、必要な具体的取組を企画・立案する**	○切れ目のない在宅医療・介護の提供構築 ・終末期における意思表示を支援するために、エンディングノートなどを活用して行う。 ・高齢者施設における救急搬送の手引きについて検討会を開催する。 ・在宅介護生活サポート事業の検討（第8期計画） ・情報通信機器を用いたカンファレンス（退院時共同指導）			終末期に向けた活動支援事業推進（平塚市版エンディングノートの配布開始）									
			高齢者施設における救急搬送の手引き検討会を開催											
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	**情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備するなど、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援する**	○医療と介護の情報共有 情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」、「入院時退院時情報提供書」を活用する。	情報共有ツールの周知と配布、活用											
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	**地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療・介護連携に関する事項の相談の対応を行う**	○在宅医療・介護の連携を支援する相談窓口の運営 ・医療・介護関係機関に相談の調整及び連携を行う。 ・参考となる相談、解決策を平塚市在宅医療介護連携支援センターのホームページ上に掲載を行う。	平塚市在宅医療介護連携支援センターでの相談実施											
(カ)医療・介護関係者の研修	**地域の医療・介護関係者のさらなる連携を図るために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。必要に応じ、地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催等の研修を行う**	○多職種が連携するためのグループワーク等の研修 ・急性期病院退院支援担当と包括・居宅のそれぞれで事例検討会を開催する（7月・9月頃）。 ・薬剤師とケアマネジャーの情報交換会。 ・「看取り」をテーマに医療・介護関係者、施設職員を対象とした人材育成セミナーを開催する。 ○医療・介護関係者に対する研修 ・在宅・施設で働く医療者・介護者を対象に「医療知識とケアの学びシリーズ」として全4回「腎疾患」「循環器」「歯科」「糖尿病」のテーマでそれぞれ医師、訪問看護師等を講師に開催する。 ○「救急シート」の活用状況を調査 ・「救急連絡シート」活用についてアンケート（救急隊と施設） ○施設職員、サービス事業所を対象にAED講習を行う。（消防救急課の協力） ○システム会議と共催し介護保険サービスについてオンラインを活用し、あらためて周知していく。 ・平塚の介護保険サービスについてYouTube配信していく。 ○包括、他医療・介護職が終末期について援助者としての技法を学ぶ。 ・包括（R2延期分）、居宅職員向けに「もしバナゲーム」について研修による周知を行う。	急性期病院退院支援担当と地域の医療・介護職員との連携研修											
					人材育成 セミナー			薬剤師と ケアマネジャー の 事例検討会						
				「医療知識とケアの学びシリーズ」などの開催										
			「救急連絡シート」活用状況調査											
(キ)地域住民への普及啓発	**在宅医療・介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する**	○地域住民への普及啓発事業 ・介護予防教室等地域からの依頼で職員が講義を行う。 ○終末期に向けて自身の生き方について考える。 ・当事者（患者）の経験談をもとに福祉会館等で講話を行う。	地域への普及啓発事業											
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	**同一の医療圏や隣接したの市町村が連携して、広域連携が必要な事項について協議する** **<u>※令和3年4月1日より都道府県主体へ役割変更</u>**	○関係市町との連携 三市二町意見交換会への参加、隣接圏域（茅ヶ崎市、寒川町）との情報交換会への出席、湘南西部病院協会が進める県補助金事業「medical BIG net」構想に協力を行う。	「medical BIG net」構想に協力											

※（ア）（オ）（カ）（キ）は平塚市在宅医療介護連携支援センターに委託

※研修会等は集合形式からオンライン形式での開催になる場合あり。

※状況により、変更等の可能性あり。研修会等も集合形式からオンライン形式での開催になる場合あり。